

(別紙4(2))

事業所名： あつみの郷グループホーム

目標達成計画

作成日： 令和 6年 1月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	10	コロナ以降、ご家族の来訪が少なく、ホーム内の入居者様の詳細が伝わりにくい。	ご家族との信頼関係をより深め、アンケートの回収率を上げ介護サービスに反映させる。	1、各担当職員は協力して入居者の状況把握に努め、ニーズを汲み取り、計画書に組み入れる。 2、便り、生活の様子、写真、電話連絡等により担当者が毎月伝え、ご家族の思いを汲み取り支援に繋げる。 3、家族面談実施する。 ①ご家族、管理者、担当者の3者で年1回実施。生活面、体調面等を伝えご意見、ご要望を伺う。 ②家族面談時にアンケートは直接手渡す。	12ヶ月
2	35	防災に対する知識が乏しい。また、ホーム内の備蓄品の量や保管場所が分かりにくい。	毎月のグループホーム独自の防災訓練を継続すると共に、防災に対する知識を増やし、ホーム内の備蓄品を整える。	①毎月の防災訓練を継続する。 ②場所と定数がわかりやすいよう、備蓄品を整理する。 ③BCPについて全職員が理解し正しく運用できるよう、勉強会を実施する。	12ヶ月
3		面会状況について、身元保証人には文書で報告しているが、その他の家族に伝わらず混乱がある。	状況により変更される面会内容がわかり、ご家族との関係が薄れないよう、安心して面会できる。	1、毎月のご家族との電話連絡の際に、現在の面会内容を伝える。 2、身元保証人の了承を得て、身元保証人以外のご家族にも必要に応じて面会案内を文書で渡す。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。